

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1231	施策名	いつでもどこでも情報ネットワークにつながるまち	主 担 当 課	企画政策課
大項目	安全で快適なまちづくり				
基本 方針	「いつでも、どこでも、だれでも」情報通信ネットワークを利用することができるよう、島しょ部を含めた情報基盤の整備を進めます。 また、インターネットを始めとするICTの有効活用により、市民との情報の共有や交流を進めるとともに、市民サービスの向上に努めます。			関 係 課	総務課

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	電子申請推進事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民		汎用電子申請システム等による電子申請利用促進と簡略化など市民の利便性の向上を図る。			岡山県電子自治体推進協議会との連携や共同システムによる汎用電子申請システムの利活用による、申請サービスの拡大や取扱い申請の拡大を行う。 電子申請の利用促進を行うため、担当職員等による研修会を実施し、市民サービスの利便性の向上を図る。							
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●電子様式などの積極的な公開 ●電子申請の普及促進 ●取扱い申請の拡大			⇒			⇒			⇒		
直接 事業費	決算額	199	千円	決算額	199	千円	決算額	199	千円	決算額	199	千円
	うち 一般財源	199	千円	うち 一般財源	199	千円	うち 一般財源	199	千円	うち 一般財源	199	千円

2		地域情報化推進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
市民		CATVを活用し、地域情報格差(デジタルデバイド)をなくす。				地域情報化基本計画の推進と事業主体となる笠岡放送(CATV事業者)を通じて、情報共有や地域交流の取り組みと地域情報格差の解消に向けた取り組みを行っていく。							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度				
取組内容		●ブロードバンドを利用したデジタル化普及促進 ・データ放送の拡大 ●地上デジタルに対応した新しい地域交流の促進 ・データ放送による地域情報・行事の提供 ・地上デジタル放送への移行に伴う「新たな難視」地域として、飛島(佐場地区)におけるテレビ共同受信施設の新設整備に対する助成		⇒ ⇒ ⇒ ・地上デジタル放送への移行に伴う「新たな難視」地域として、飛島(沖浦地区)におけるテレビ共同受信施設の新設整備に対する助成		⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒				
直接事業費		決算額	1,904	千円	決算額	4,018	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
		うち一般財源	1,904	千円	うち一般財源	4,018	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

3	ウェブページ運用管理事業												
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
市民		市民にとって利用しやすいウェブページの導入と情報提供・情報開示を行っていく。 笠岡市の魅力や政策を市内外へ情報発信していく。				ホームページ更新システム導入に向けた再構築と運用管理を行っていく。 更にシステムを利用した、市民サービスの向上とアクセシビリティの改善を図っていく。							
		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容		●利用しやすいウェブページの運営・管理 ●申請様式の充実・拡大		⇒ ⇒			⇒ ・ウェブページのスマートフォン対応 ⇒			⇒ ・ウェブアクセシビリティ向上(等級AA) ⇒			
直接事業費		決算額	3,712	千円	決算額	3,712	千円	決算額	3,659	千円	決算額	1,491	千円
		うち一般財源	3,712	千円	うち一般財源	3,712	千円	うち一般財源	3,659	千円	うち一般財源	1,491	千円

4		行政情報化推進事業													
事務事業の目的										事務事業の内容					
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)												
事務処理を行う職員 各種の庁内情報			迅速かつ正確な処理を可能とし、効率的な事務の執行を図る体制を確保する。 既存の各種情報処理システムの安定稼働を図るとともに、必要に応じシステムの改修や開発を行い、正確・迅速な処理を行う。							総合行政情報システム、住民基本台帳ネットワークシステム、電子自治体システム等の安定稼働を確保するとともに、その基盤となる庁内LANの保守運用、端末となるパソコンの整備・保守を行う。また、社会保障・税番号制度に対応すべく、既存のシステムの改修等を行う。					
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度				
取組内容		・ファイアーウォール入替 ・情報系ネットワークスイッチ入替			・総合行政情報システム入替 ・情報系ウイルス対策機器入替 ・財務会計システム入替 ・人事給与システム入替			・メールサーバ等機器入替 ・VPNシステム機器入替 ・情報系庁内ネットワーク構成機器入替 ・自治体クラウド検討及び広域連携研究 ・LGWAN接続機器入替 ・基幹系ウイルス対策システム機器入替			・電子自治体システム更改準備 ・インターネットサーバ機器入替 ・積算システム機器入替 ・既存システム番号制度対応 ・自治体中間サーバプラットフォーム利用申込				
直接事業費		決算額	164,595	千円	決算額	159,816	千円	決算額	166,020	千円	決算額	220,806	千円		
		うち一般財源	164,595	千円	うち一般財源	159,816	千円	うち一般財源	166,020	千円	うち一般財源	206,017	千円		

5		入札事務電子化事業											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
事務処理を行う職員 入札参加業者		紙での入札から、電子入札に切り替えることにより、事務の軽減と入札参加業者の負担軽減を図る。				おかやま電子入札共同利用システムを導入し、建設工事、建設コンサル業務の一般競争入札をまず、電子入札に切り替え、その後指名競争入札にも範囲を拡大する。							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度				
取組内容				建設工事、建設コンサル業務の一般競争入札において、電子入札を導入。		⇒			建設工事、建設コンサル業務の指名競争入札に電子入札の範囲を拡大。				
直接 事業費	決算額		千円	決算額	5,340	千円	決算額	5,393	千円	決算額	6,439	千円	
	うち 一般財源		千円	うち 一般財源	5,340	千円	うち 一般財源	5,393	千円	うち 一般財源	6,439	千円	

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	170,410	千円	173,085	千円	175,271	千円	228,935	千円
うち一般財源	170,410	千円	173,085	千円	175,271	千円	214,146	千円

<4.指標>

				目標・実績の推移					
指標名				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	笠岡市ウェブサイトアクセス数(1箇月当たり平均)	単位	目標				30,000	31,000	34,000
		件	実績	20,400	23,900	29,600	32,400	35,500	
			達成率				108.0%	114.5%	
2	電子入札範囲の拡大	単位	目標				13.0	86.3	100.0
		%	実績	—	—	—	14.5	51.4	
			達成率				111.5%	59.6%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・電子申請については利用システムの簡易化が必要と考えられます。	→ 電子申請の利用システムは、岡山県電子自治体推進協議会が開発・運用しており、同協議会が、イベントなどを活用し、操作体験会を実施するなどして操作方法の普及を図っております。
・市役所のHPへアクセスしても、なかなか見たいページにたどり着かない状況は改善しているのだろうか。常にHPを見やすく改善をしていただきたい。	→ 見たいページにたどり着きやすいホームページになるよう、各課のホームページ担当者を通じて、情報を掲載する職員の意識向上を図ってまいります。
・行政から伝えなければならない情報は増え続けていると感じます。広報紙では不十分だと思います。各家庭に情報端末を置くなどして、行政からの情報を強制的に伝達できるシステムの導入を望みます。	→ 広報紙での情報発信に加え、市ホームページ・SNS(フェイスブックやツイッター)など様々な形で情報発信できるよう工夫しております。市ホームページについては、平成26年2月にスマートフォン対応を行うなど、利用者が情報を見やすいよう対応を進めているところです。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	・標的型攻撃への対応が手薄である → ネットワーク監視装置の導入するなど監視の強化を図り、攻撃を受けても早期に発見し、対策を打てるようにする ・ホームページのアクセス数は年々増加傾向にあり、今後も利用拡大が見込める。一方で情報が見つげにくいなど、問題点は多数ある。今後も情報を探しやすく見やすいホームページへと改善するためリニューアルも視野に入れ検討を進める。 ・情報発信手段の多様化によりSNS(フェイスブックやツイッター)の利用も増えている。SNSでも積極的に最新の情報を更新していく必要がある。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・情報通信の双方向的な仕様により、住民相談業務等の住民ニーズを随時汲み上げていくことも考えられます。 ・タブレット端末が少ないということであったが、使用すれば利便性が高いと思われる。そのため使い方を研究し、今後多くの部署で使用して利便性に努めていただきたい。 ・全職員がセキュリティに努める職員教育は必修である。 ・市役所のホームページをもっと分かりやすくしていただきたいです。(探しているところを見つけにくい。)また、印象としてかたい感じがするので、もう少しやわらかなイメージにしてみたいかがでしょうか。			